

KOBELCO
マルチ解体機
自動車解体
エンジン解体
一般廃棄物



コベルコ建機 電話03-5789-2111

日本ELVニュース

End of Life Vehicle

1年6回発行(1月 3月 5月 7月 9月 11月)

発行人 酒井清行
日本ELVリサイクル機構
〒105-0004
東京都港区新橋3-2-2 一美ビル5階
電話 03-3519-5181
発行所(業務委託) (株)日刊市況通信社
大阪 大阪市中央区日本橋1丁目17-20 日本橋丸ビル5階
本社 電話 06-6631-5651

JAERAインストラクター講習

全国11ブロックで開催

エコバック適正処理技能者を養成

日本ELVリサイクル機構(酒井清行代表理事)は、フロント類・エアバッグ類の適正処理作業の技能者養成のための「JAERAインストラクター講習会」を、自動車再資源化協力機構(JARP)と共同で全国11ブロックで開催した。

7月から9月にかけて行われた講習会では、各地域団体から48名が参加。JARPから講師を招き、



フロント類回収の実技講習を受ける参加者

フロント類やエアバッグ類の適正処理のための作業手順などを座学や実技講習で学んだ。

とともに、自動車リサイクル法の目的やその内容を次世代を担う人材に正確に伝えていくことが狙い。

講習を受講したインストラクター候補者には、後日、ELV機構とJARPの連名で認定書を発行。認定書を受け取って3カ月以内にインストラクターが講師となり、地域組合単位でフロント類・エアバッグ類の適正処理作業についての講習会を開き、会員に適正処理を周知徹底していく。

ELV機構では、インストラクターに対して、本部及び地域活動の一翼を担う人材として、また、会員間コミュニケーションの取りまとめ役としての役割も期待している。

自動車リサイクル部品の普及促進 全国キャンペーンを展開

10月の3R推進月間に合わせて、ELV機構は「自動車リサイクル部品普及促進キャンペーン」を全国で展開する。昨年に引き続き2回目となる今回は、10月1日に新橋駅前でのチラシ配布を皮切りに、各地のイベントへの参加や各事業所での



製作したポスター

見学会などを実施する計画だ。

また、ELV機構ではリサイクル部品のPR用のポスターを製作。「自動車リサイクル部品の利用であなともCO₂の削減に貢献。」

韓国の自動車リサイクル法が、来年1月1日から施行される。同法は、日本のような個別法ではなく「電気・電子製品及び自動車の資源循環法」として07年4月に制定された。その特徴の一つは、自動車リサイクル率(廃自動車再活用比率)を設定し、関係業者にその遵守を要求していること。

二つは、ユーザーには費用負担を求めず、スクラップや中古部品価格の値下がりなどで、使用済自動車の処理費用やASRリサイクル費用などが使用済自動

解説・韓国自動車リサイクル法 自動車メーカーに「情報公開」や「改善提案」も

(再活用)方法などに関する情報をリサイクル業者が要求した場合は、原則として提供(情報公開)しなければならない。リサイクル業者は国に改善事項を提案(改善提案)することができるとだ。

メーカーがリサイクル業者に対し構成材質などの情報提供を義務づける条項はない。また、リサイクル業者が政府に提案したことが、勧告となつて製造現場に還流する規定もない。韓国の自リ法は

取引になった時だけ、自動車メーカーに無償回収と解体業者などと契約してリサイクルを行うことを義務づけている。

その一方で、リサイクル業者は、使用済自動車に逆有償となった場合、

サイドプレス(製造・直販)



- 製造メーカーの直販
- 納入実績100台
- サイドプレス(商標登録)
- 基礎工事不要・設置・導入コストを大幅削減
- 超低騒音・高性能・堅牢・経済性を誇る

2方締型式	3方締型式	投入ボックス寸法
KY-26	MKY-26	860×2000×2560
KY-33	MKY-33	860×2000×3300
KY-35	MKY-35	860×2000×3500
KY-51	MKY-51	860×2000×5100
KY-53	MKY-53	860×2000×5300

日本資源機械工業協同組合員



三筒産業株式会社

本社・工場 高松市新田町甲73番地の1 電話(087)841-3131(代)・FAX 841-2506
http://www.niji.or.jp/home/m-mito/

JAERAインストラクター講習を開催

自動車再資源化協力機構と協力

全国で48人のライクスターを養成

JAERAインストラクター講習では、講師の自動車再資源化協力機構（JAERP）の担当者が、フロン類やエアバッグ類の適正処理を進める上での適切な作業手順などを座学と実技講習を通じて解説した。全体的な作業内容のほか、自動車解体業者が知らず知らずのうちに不適切な作業を実施している事例が多かった点を紹介しながら、法に基づいた適正処理の作業手順の周知徹底を求めた。

講師の説明によると、フロン類の回収についてJAERPが実施した調査結果を見ると、回収量の多い事業所と少ない事業所では、「漏れ防止バルブの使用」、「2度引きの実施」、「パージ作業の実施」、「ボンベ・回収機の漏れ」の4点に差異があった。

回収量の少ない事業所で、これらの作業を徹底したところ、回収量が改善したという。特に「2度引き」を行うことで20〜50％、「パージ作業」の実施で10〜210％の回収ができていたと分かった。

基本作業手順の周知徹底を

講師は「解体業者に入庫した段階でフロン類が漏れているケースが多く、今のフロン類基準引取量が実態に合っていないといった指摘もあるが、ま

エアバッグ類の回収については、まず車上作業処理の場合について、「必要書類の未保管や管理台帳に車台、この実施記録がない」といった事例が多いこと、作業については「メガネ・手袋・マスクの未着用や静電気除去の未実施」なども多く見ら

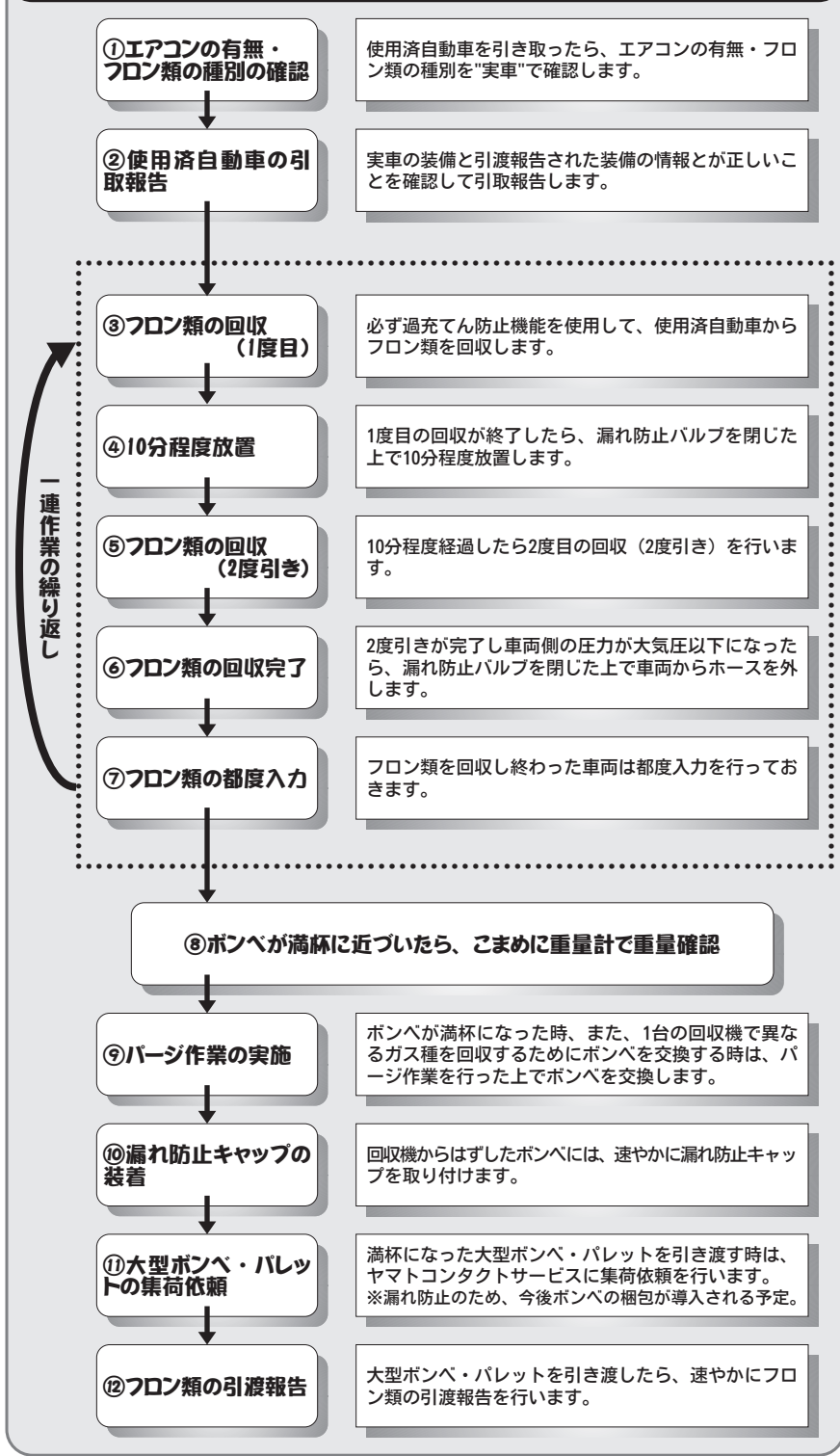
また、過充填のボンベは破損する危険もあることから、「ボンベが満杯に近づいたら、こまめに重量計で重量を確認すること」を求めた。

適切な業務を行うようにしていただきたい」とJAERPの要望を伝えた。特に管理台帳については、車上作業処理を行った実績を証明する重要な書類であることから、車台番号や処理実施日など指定された全ての項目について記録するよう求めた。管理台帳の雛形はJAERPのホームページ（<http://www.jarp.org/>）

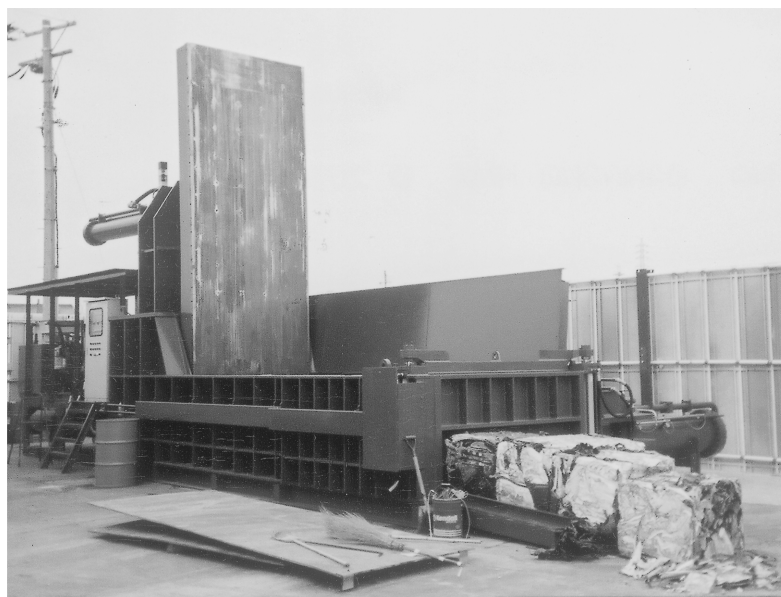


エアバッグ類の実技講習 一括作動処理の手順などを再確認した（関東中ブロック）

フロン類回収の適正・適切な業務



三方締廃車プレス機（横蓋式）



三方締廃車プレス機（縦蓋式）

※その他各種プレス機を製作。

JAERAインストラクター名簿

- | | |
|--|---|
| <p>北海道自動車処理協同組合
会田 隆 (有)会田車輛
三浦康成 (有)アイエイシー商事
幸田英治 (有)北光興産
吉岡篤史 (有)ニ協自動車商会</p> <p>青森県自動車リサイクル協同組合
菊池智哉 (有)小塚自動車商会</p> <p>秋田県自動車処理協同組合
佐藤勇輝 (有)サユウ</p> <p>岩手県ELVリサイクル協議会
菊池 晃 (有)サンケイ商会</p> <p>福島県自動車リサイクル協同組合
安澤博文 (有)安澤商店</p> <p>宮城県中古自動車解体再生部品卸協同組合
今井雄治 (有)イマイ自動車</p> <p>山形県自動車リサイクル協会
竹内昌彦 (有)山形オートリサイクルセンター</p> <p>城東自動車解体部品組合
佐藤 茂 (有)青戸自動車解体</p> <p>新潟廃車処理協同組合
野口竜己 (有)新潟自動車リサイクル</p> <p>東京江戸川自動車解体商興会
反町博幸 (有)反町商店</p> <p>西東京自動車リサイクル協会
有原 良 (有)有原商店</p> <p>茨城県自動車リサイクル協同組合
奥津智昭 (有)旭自動車商会</p> <p>千葉県自動車解体業協同組合
小暮康信 (有)轟商会
宅間晶均 (有)メタルリサイクル</p> <p>埼玉自動車解体部品協同組合
横尾秀哉 (有)横尾商店</p> <p>埼玉自動車解体事業協同組合
渡邊 透 (有)昭和メタル
唐崎慎也 (有)3R</p> <p>栃木県自動車リサイクル協議会
石井恒治 (有)栃木パーツ</p> <p>静岡県自動車解体業協同組合
田中成佳 (有)宮原商店</p> <p>長野県ELVリサイクル協議会
前沢伸一 (有)松本パーツ</p> <p>山梨県カーリサイクル協同組合
田中一郎 (有)石田産業</p> <p>ELV愛知リサイクル協会
福山照康 (有)第二大洋金属</p> <p>石川県中古部品協同組合
宗田正実 (有)小松解体</p> <p>三重県自動車リサイクル協議会
伊藤洋一 (有)三重パーツ</p> | <p>富山県自動車解体部品組合
池田博一 (有)ハリタ金属</p> <p>岐阜県ELV協議会
金森幸元 (有)金森商会</p> <p>TMCA
金本元基 (有)城北自動車興業</p> <p>大阪自動車リサイクル協同組合
杉田初見男 (有)山本解体</p> <p>播磨自動車解体組合
白井雅也 (有)白井パーツ</p> <p>兵庫県自動車リサイクル処理工業会
福原光宣 (有)堀尾自動車部品</p> <p>奈良県ELVリサイクル協同組合
松永健一 (有)松永商店</p> <p>ヴィークルリサイクラークラブ山口
森野大介 (有)シーパーツ</p> <p>ヴィークルリサイクラークラブ広島
三山康文 (有)UPF</p> <p>ヴィークルリサイクラークラブ鳥取
大黒昭司 (有)西川商会</p> <p>岡山県自動車リサイクル協同組合
佐々木健二 (有)佐々木商店</p> <p>愛媛自動車部品リサイクル協同組合
山本留美子 (有)ヤツツカ</p> <p>香川県自動車リサイクル協同組合
篠原裕紀 (有)四国交産</p> <p>高知県自動車リサイクル協同組合
戸口達郎 (有)戸口商会
上島 剛 (有)安岡金属</p> <p>大分県ELV商業組合
野中 毅 (有)大分清解</p> <p>鹿児島県自動車部品リサイクル協同組合
保 晋太郎 (有)オートパーツ伊地知</p> <p>北九州ELV協同組合
田中年幸 (有)尼岡産業</p> <p>熊本県ELV協同組合
熊本県自動車再利用パーツ協同組合
田上昭彦 (有)キタグチ</p> <p>佐賀自動車解体部品協同組合
久原康己 (有)住之江金属</p> <p>シーアール福岡協同組合
高田聖二 (有)オート商会</p> <p>長崎自動車中古部品卸業組合
水落文雄 (有)パーツライン</p> <p>宮崎県ELV協同組合
池田 済 (有)久保田オートパーツ</p> <p>沖縄県自動車リサイクル協同組合
垣花善則 (有)チャレンジパーツ</p> |
|--|---|
- (敬称略)

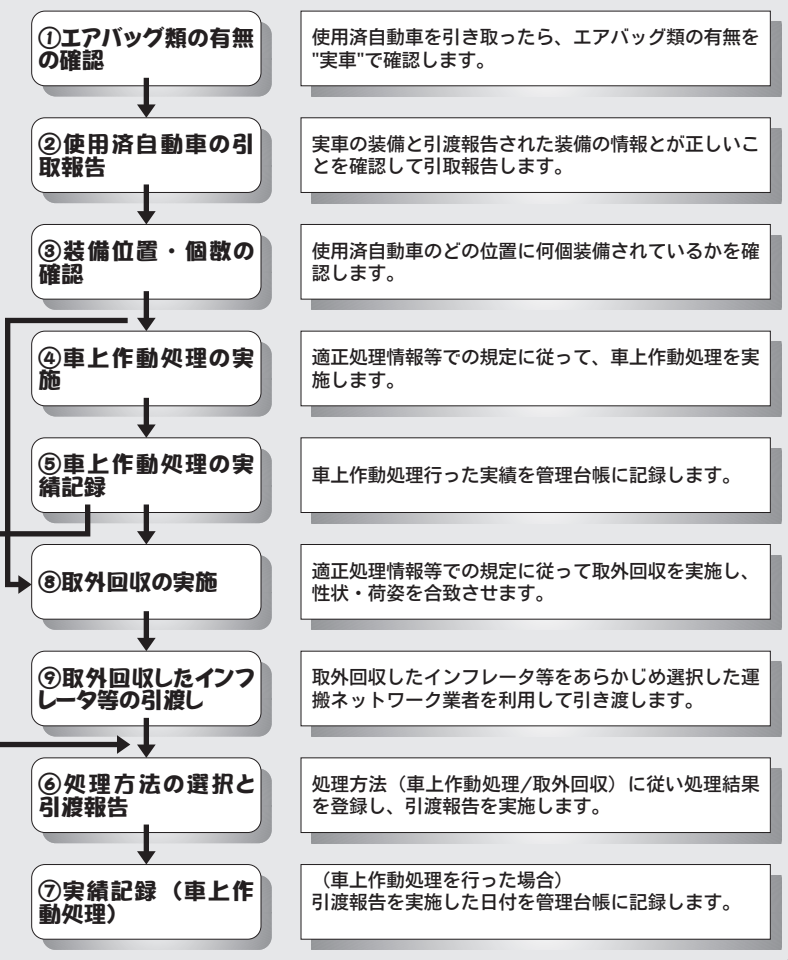
フロン・エアバッグ類の適正処理の実施に向け



座学の講習を受ける参加者(中部・北陸ブロック)

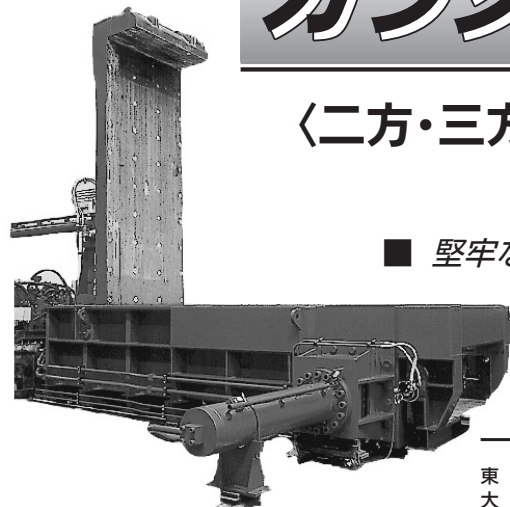
12/02_01.html)で入手
できる。
取外回収の場合につい
ては、「機械式インフレ
ータは専用回収容器に収納
する」、「機械式インフ
レータは安全装置を働
かせる」、「電気式インフ
レータ等のハーネスはショ
トさせる」といった基本
的な手順を再度徹底する
ことを求めた。

エアバッグ類の適正・適切な業務



ガラクターダー

〈二方・三方締め兼用〉 廃車プレス機



- 堅牢な構造
- 高性能な廃車ガラプレス機
- 待望の低価格

富士車輛株式会社

東京 TEL(03)5687-1211
大阪 TEL(06)6838-9410
http://www.fujicar.com
名古屋 TEL(052)621-6900
福岡 TEL(092)622-1758
サービス部 東京 TEL(03)5687-1211
大阪 TEL(06)6838-9411

鉄スクラップの国内販売・輸出 廃モーターリサイクル

セルモーター ラジエタープレス ハーネス 白黒エンジン etc 求む

リサイクル・カンパニー



大原商事株式会社

本社 大阪市西淀川区花川2丁目21番12号
大原ビル
TEL 06-6473-1898(代) FAX 06-6473-5827
集荷ヤード 大阪港内櫻島埠頭・尼崎港・伊万里港
海外 韓国・中国

千葉県自動車解体業協同組合 「エコメッセ2007」に出展

千葉県自動車解体業協同組合(木内俊之理事長)は9月9日、千葉市美浜区の幕張メッセで開催された「エコメッセ2007」に参加、出展した。



千葉県自動車解体業協同組合の出展ブース

車リサイクル法を解説したパネル展示を行ったほか、自動車リサイクル部品の利用促進などを来場者に訴えた。

エコメッセは「多くの人に環境問題を伝え、そして解決に向かって一緒に行動する人の輪を大きくする」ことを目的に、1996年に市民・企業・行政が「ちば」(幕張新都心)に集い、連携・協力して始まった環境見本市。12回目となる今回は、環境に関心のある市民ら約7100人が会場に足を運んだ。

今回が初めての参加となった千葉組合は、「一

般ユーザーと意見交換できたことは楽しく且つ有意義な体験だった。一般ユーザーは常に自分の周りにはいることを再認識し、日頃からPRしていく習慣こそが、関連事業者の業務を適正・円滑に結び付けられる『小さな行動』と大きな結果へのアクション」となると実感した。

「エコアクション21」取得へ 福島県自動車リサイクル協同組合が講習会

福島県自動車リサイクル協同組合は7月28日、今年度の事業の一つとして取り組んでいる「エコアクション21」取得に向けて、「平成19年度第1回合同研修会」を実施した。

技術相談室の永島巖室長が「エコアクション21について」、トヨタL&Fカンパニーフリート営業部コンサルティング室の岩下保広氏が「トヨタ生産方式は人づくり」と題して講演した。

自動車リサイクル室長に 高橋政義氏が着任



私が就任して約

このほど経済産業省自動車リサイクル室長に高橋政義氏(写真)が着任されました。ELV機構会員にご挨拶をいただきました。

2ヶ月が経ちましたが、その間、自動車製造の現場から、フロン類の回収・エアバッグ類の処理・ASRの処分と、自動車の誕生から廃棄までを勉強させていただきました。今後、多くの方々から自動車リサイクルシステムに関するご意見を伺い、よりよいシステムにしたいと思います。よろしくご協力をお願い申し上げます。

今回はデミー(地味)なお話です。まず2枚の写真を見てください。写真1は、箒が乗っけて見えないくらいですが、ボルト、ナットだけを集めた容器。写真2は、部品の取り外し作業をしながらボルト、ナットを集めるための、手元用の容器です。山形県自動車販売店リサイクルセンターさんで見せていただきました。エアーレンチなどでボルト、あるいはナットを外しながら部品取りを行うとき、外れたボルトやナットはどっしりに落ちませんか。床に振り落として次のボルトを緩める、と

酒井代表理事の 「またのび見聞録」

Vol.2



いつ方がかぬいうっしやるのではないのでしょうか。床に落ちたボルト、ナットは、作業終了時に掃き集めて、部品を外した車に放り込む、あるいは別の入れ物に保管するといふ手順だと思います。ここで話題にしたいの

「仕事でない仕事を省く努力を」 山形県自動車販売店リサイクルセンター

山形県自動車販売店リサイクルセンターさんのように、外すと同時に容器に入れてしまえば、掃き集める作業は不要にな

集めてもボルトナットが高く売れるわけではありませぬ。山形県自動車販売店リサイクルセンターさんのように、外すと同時に容器に入れてしまえば、掃き集める作業は不要にな

もしもありません。サイズや用途別に分類すれば、バイヤーが買ってくれることもあります。付加価値を生まない仕事を省略でき、その上さらに付加価値が付く。こんなことが、皆さんの現

るべきでしょう。外した部品をいったん床に置き、それを再びパレットに載せて移動するということが、何の疑問も持たずにやっているのではないですか?これも、床に置きパレットに載せ



写真1(ボルトとナットの保管容器)

写真2(取り外し作業手元用の容器)

「エコアクション21」は、環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、報告するための方法として、環境省が策定したエコアクション21ガイドラインに基づく、事業者のための認証・登録制度。

「エコアクション21」は、環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、報告するための方法として、環境省が策定したエコアクション21ガイドラインに基づく、事業者のための認証・登録制度。

Lindemann

世界に広がる リンデマン ブランド

リンデマン
メタルクラッシャー

リンデマン
RASスクラップ
ペーリング・プレス

リンデマン シュレッダー
パワーツァーディラトール

メツツオ・ミネラルズ・ジャパン株式会社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-14-11

TEL: 045-476-3930 FAX: 045-476-3933

お問合せ: minerals.info.jp@metso.com URL: www.metsominerals.com/jp